

# 貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>12,818,544</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>10,363,240</b>
現金・預金	1,467,520	約定見返勘定	2,787
預託金	5,402,397	信用取引負債	2,269,394
顧客分別金信託	3,290,000	信用取引借入金	2,183,681
顧客区分管理信託	2,100,000	信用取引貸証券受入金	85,713
その他の預託金	12,397	預り金	2,714,595
トレーディング商品	60,991	受入保証金	3,973,491
デリバティブ取引	60,991	短期借入金	1,260,000
信用取引資産	4,051,314	前受収益	422
信用取引貸付金	3,980,278	未払金	97,555
信用取引借証券担保金	71,035	未払費用	15,539
立替金	1,041	未払消費税等	24,549
募集等払込金	2,465	未払法人税等	5
短期差入保証金	980,102	賞与引当金	4,900
支払差金勘定	740,429	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,580,249</b>
前払費用	15,891	繰延税金負債	1,547,528
未収入金	18,246	退職給付引当金	17,720
未収収益	78,143	その他の固定負債	15,000
<b>固 定 資 産</b>	<b>4,875,303</b>	<b>特 別 法 上 の 準 備 金</b>	<b>23,095</b>
有形固定資産	193,537	金融商品取引責任準備金	17,924
建物	31,405	商品取引責任準備金	5,170
器具・備品	28,107		
土地	134,024	<b>負 債 合 計</b>	<b>11,966,585</b>
無形固定資産	12,011		
ソフトウェア	9,006	<b>純 資 産 の 部</b>	
電話加入権	3,004	科 目	金 額
投資その他の資産	4,669,755	<b>株 主 資 本</b>	<b>2,932,679</b>
投資有価証券	4,406,282	資本金	950,150
関係会社株式	5,000	資本剰余金	1,112,510
出資金	2,100	資本準備金	577,422
長期差入保証金	243,645	その他資本剰余金	535,088
長期前払費用	12,727	利益剰余金	870,018
その他の投資等	52,862	利益準備金	590,000
貸倒引当金	52,862	繰越利益剰余金	280,018
		<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>2,794,583</b>
		その他有価証券評価差額金	2,794,583
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>5,727,262</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>17,693,847</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>17,693,847</b>

# 損益計算書

平成 25 年 4 月 1 日から  
(平成 26 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

科 目	内 訳	金 額
営業収益		1,720,190
受入手数料	1,402,499	
トレーディング損益	229,709	
金融収益	87,982	
金融費用		37,900
純営業収益		1,682,290
販売費・一般管理費		1,471,411
取引関係費	326,305	
人件費	853,492	
不動産関係費	75,387	
事務費	154,926	
減価償却費	22,534	
租税公課	21,214	
その他	17,550	
営業利益		210,878
営業外収益		93,336
営業外費用		11,198
経常利益		293,017
特別損失		9,638
金融商品取引責任準備金繰入れ	4,649	
商品取引責任準備金繰入れ	4,989	
税引前当期純利益		283,378
法人税、住民税及び事業税		3,359
当期純利益		280,018

## 株主資本等変動計算書

( 平成 25 年 4 月 1 日から  
平成 26 年 3 月 31 日まで )

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資本金	資 本 剰 余 金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	950,150	577,422	640,000	1,217,422
事業年度中の変動額				
別途積立金の取崩	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	104,911	104,911
当期純利益	-	-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計	-	-	104,911	104,911
当 期 末 残 高	950,150	577,422	535,088	1,112,510

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		別途積立金	繰越利益剰余金		
当 期 首 残 高	590,000	200,000	114,336	675,663	2,843,235
事業年度中の変動額					
別途積立金の取崩	-	200,000	200,000	-	-
剰余金の配当	-	-	85,663	85,663	190,575
当期純利益	-	-	280,018	280,018	280,018
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計	-	200,000	394,355	194,355	89,443
当 期 末 残 高	590,000	0	280,018	870,018	2,932,679

(単位：千円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	1,901,120	1,901,120	4,744,356
事業年度中の変動額			
別途積立金の取崩	-	-	-
剰余金の配当	-	-	190,575
当期純利益	-	-	280,018
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	893,462	893,462	893,462
事業年度中の変動額合計	893,462	893,462	982,905
当 期 末 残 高	2,794,583	2,794,583	5,727,262

## 個 別 注 記 表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は、「会社計算規則」(平成 18 年 2 月 7 日法務省令第 13 号)の規定の他、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成 19 年内閣府令第 52 号)及び「有価証券関連業経理の統一に関する規則」(昭和 49 年 11 月 14 日付日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成しております。

### 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券及びデリバティブ取引の評価基準及び評価方法

イ．トレーディング商品に属する有価証券等

トレーディング商品に属する有価証券及びデリバティブ取引については、時価法を採用しております。

ロ．トレーディング商品に属さない有価証券等

その他有価証券

a．時価のあるもの 決算日の市場価格に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

b．時価のないもの 移動平均法による原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産・・・定額法を採用しております。ただし、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産については、旧定額法を採用しております。

無形固定資産・・・自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用期間(5 年)に基づく定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、自己都合退職による期末要支給額から中小企業退職金共済制度からの給付相当額を控除した金額を計上しております。

賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支払いに備えるため、当社所定の計算方法により算出した支給見込額を計上しております。

貸倒引当金の計上基準

債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権については個別の回収可能性を検討のうえ、回収不能見込額を計上しております。

#### (4) 特別法上の準備金の計上基準

金融商品取引責任準備金の計上基準

証券事故による損失に備えるため、「金融商品取引法」第 46 条の 5 の規定に基づき、

「金融商品取引業等に関する内閣府令」第 175 条に定めるところにより、算出された額を計上しております。

商品取引責任準備金の計上基準

商品事故による損失に備えるため、「商品先物取引法」第 221 条の規定に基づき、「商品先物取引法施行規則」第 111 条に定めるところにより、算出された額を計上しております。

(5) その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

【貸借対照表に関する注記】

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 194,900 千円

(2) 担保に供している資産

(単位：千円)

担保資産の対象となる債務		担保に供している資産					
科目	期末残高	現金	預金	土地	建物	投資有価証券	計
短期借入金	1,260,000	-	90,000	130,356	1,107	4,344,030	4,565,493
金融機関借入金	560,000	-	90,000	130,356	1,107	480	221,943
証券金融会社借入金	700,000	-	-	-	-	4,343,550	4,343,550
信用取引借入金	2,183,681	-	-	-	-	-	-
計	3,443,681	-	90,000	130,356	1,107	4,344,030	4,565,493

(注) 1. 担保に供している資産は、期末帳簿価額によるものであります。

2. 上記のほか、信用取引借入金の担保として信用取引にかかる自己融資見返り株券を 758,767 千円差し入れております。また、顧客より委託保証金の代用として受入れた質権有価証券を信用取引借入金の担保として 341,398 千円差し入れております。

3. このほかに、会員信認金として現金を 15,900 千円、取引参加者保証金として現金を 12,200 千円、清算預託金として現金を 203,446 千円、清算基金として現金を 97,000 千円及び投資有価証券を 59,202 千円差し入れております。

(3) 差し入れた有価証券の時価額

信用取引貸証券	91,210 千円
信用取引借入金の本担保証券	2,183,681 千円
差入保証金代用有価証券	341,398 千円
その他の担保として差し入れた有価証券	5,161,999 千円

(4) 差し入れを受けた有価証券の時価額

信用取引貸付金の本担保証券	3,646,301 千円
信用取引借証券	71,035 千円
受入保証金代用有価証券（再担保提供同意を得たもの）	5,780,467 千円

(5) 特別法上の準備金

特別法上の準備金の計上を規定した法令の条項は次のとおりであります。

金融商品取引責任準備金

金融商品取引法第 46 条の 5 第 1 項

商品取引責任準備金

商品先物取引法第 221 条

【損益計算書に関する注記】

関係会社との取引高

営業取引以外の取引による取引高	5,805 千円
-----------------	----------

【株主資本等変動計算書に関する注記】

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式	1,155,000 株
------	-------------

(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1 株当たりの配当額(円)	基準日	効力発生日
平成 25 年 6 月 28 日 株主総会	普通株式	104,911	資本剰余金	90	平成 25 年 3 月 31 日	平成 25 年 7 月 1 日
		85,663	利益剰余金	75		
	合計	190,575		165		

(3) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

## 【税効果会計に関する注記】

### 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因

#### 繰延税金資産

賞与引当金	1,746 千円
減価償却資産	8,451 千円
金融商品取引責任準備金	6,388 千円
商品取引責任準備金	1,842 千円
貸倒引当金	18,840 千円
退職給付引当金	6,315 千円
減損損失	11,676 千円
その他	3,543 千円

繰延税金資産合計 58,804 千円

評価性引当額 58,804 千円

繰延税金資産合計 - 千円

#### 繰延税金負債

その他有価証券評価差額金 1,547,528 千円

繰延税金負債合計 1,547,528 千円

繰延税金負債の純額 1,547,528 千円

## 【リースにより使用する固定資産に関する注記】

貸借対照表に計上した固定資産のほか、複合機（本社）5台（足利支店）2台、大証システム端末（本店）1式、車輛（足利支店）5台、については、リース契約により使用しております。

## 【金融商品に関する注記】

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### 金融商品に対する取組方針

当社は、有価証券の売買、有価証券の売買の媒介、取次ぎ又は代理、有価証券の募集及び売出しの取扱い等の業務を中核とする第一種金融商品取引業を主たる事業として行っております。これらの事業を行うため、当社では主に自己資金によるほか、必要な資金調達については金融機関からの借入れによっております。

資金運用については、短期的な預金や貸付金によるほか、顧客の資金運用やリスクヘッジなどのニーズに対応するための顧客との取引、及び自己の計算に基づき会社の利益を確保するためのトレーディング業務等を行っております。

デリバティブ取引については、各ディーラーごとにマーケットリスク枠及びポジション運用枠を配分し、運用基準を設定しております。

#### 金融商品の内容及びそのリスク

当社が保有する金融商品は、主に事業資金に充てるための現金・預金、法令に基づき外部金融機関に信託する顧客分別金信託、顧客の資金運用ニーズに対応するための信用取引貸付金、自己の計算に基づき保有する商品有価証券や投資有価証券等のほか、顧客の資金運用に伴い受入れた預り金や受入保証金等があります。

預金は預入先の信用リスクに、信用取引貸付金は顧客の資金運用ニーズに対応するための6ヶ月以内の短期貸付金で顧客の信用リスクに晒されています。

顧客分別金信託は金融商品取引法により当社の固有の資産と分別され信託銀行に信託されておりますが、その信託財産は信託法により保全されております。

自己の計算に基づき保有する商品有価証券及び投資有価証券は、主に株式、債券等であり、顧客の資金運用やリスクヘッジなどのニーズに対応するための顧客との取引、及び自己の計算に基づき会社の利益を確保するための取引等のトレーディング業務のため保有しているもの、純投資目的、事業推進目的で保有しているものがあり、これらは各発行体の信用リスク、金利の変動リスク、及び市場価格の変動リスクに晒されています。

デリバティブ取引では、自己の計算に基づき会社の利益を確保するためのトレーディング業務における先物取引を行っておりますが、これは原証券の市場価格の変動リスクに晒されています。

#### 金融商品に係るリスク管理体制

##### イ．信用リスクの管理

信用リスクの管理については、リスク管理規程等の社内規程に則して管理を行っております。

当社が保有する預金は、預入先を信用度の高い金融機関を中心に預け入れることを基本としております。

信用取引貸付金については、顧客管理に関する規程等の社内規則に基づき、個別与信先の信用力等に応じて与信限度額等を設定するなどして適正なリスク管理を行う体制としております。

商品有価証券及び投資有価証券については、証券営業本部、O&Aチーム及び総合事務部にて株価の把握等を適切に行うことで管理しております。

##### ロ．市場リスクの管理

市場リスクについても、リスク管理規程等の社内規程に則して管理を行っており、株価、外国為替相場等の動向を適切に認識し、リスクの把握を行っております。

具体的には、総合事務部において日々の市場リスク相当額を「標準的方式」を用いて算出を行い、リスク管理部門の責任者である内部管理統括責任者及び経営陣へ報告する体制により管理しております。

なお、店頭外国為替証拠金取引は顧客との相対取引であるため、同数量のカバー取引を行うまでの間、為替変動によるリスクを有しておりますので、顧客との取引に伴う為替の持高については、適時にカウンターパーティーに対してカバー取引を

行うことにより為替変動リスクを回避する体制を取っております。

#### 八．流動性リスクの管理

流動性リスクについては、必要な資金確保に支障をきたすことがないように、総合事務部において日々の資金繰りの状況を的確に把握して、手元流動性を維持することで管理を行っております。

なお、資金繰りの状況については、総合事務部長より内部管理統括責任者及び経営陣へ報告が行われる体制となっております。

#### 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件によった場合、当該価額が異なることもあります。

#### (2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 26 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1)現金・預金	1,467,520	1,467,520	-
(2)顧客分別金信託	3,290,000	3,290,000	-
(3)顧客区分管理信託	2,100,000	2,100,000	-
(4)信用取引資産	4,051,314	4,051,314	-
(5)短期差入保証金	980,102	980,102	-
(6)支払差金勘定	740,429	740,429	-
(7)投資有価証券	4,402,752	4,402,752	-
(8)その他の投資等	52,862	-	-
貸倒引当金(*1)	52,862	-	-
資産計	17,032,118	17,032,118	-
(1)信用取引負債	2,269,394	2,269,394	-
(2)預り金	2,714,595	2,714,595	-
(3)受入保証金	3,973,491	3,973,491	-
(4)短期借入金	1,260,000	1,260,000	-
負債計	10,217,480	10,217,480	-

(\*1)貸倒懸念債権の回収不能見込額に対応する個別貸倒引当金を控除しております。

(注 1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金・預金

預金はすべて短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 顧客分別金信託

顧客分別金は信託財産で時価評価されており、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 顧客区分管理信託

顧客区分管理信託は信託財産で時価評価されており、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 信用取引資産

信用取引資産は契約期間が短期間であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(5) 短期差入保証金 及び (6) 支払差金勘定

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(7) 投資有価証券

投資有価証券の時価については、株式は取引所の価格によっております。

(8) その他の投資等

その他の投資等のうち貸倒懸念債権については、個別の回収可能性を検討のうえ、回収不能見込額に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており、当該価額をもって時価としております。

負 債

(1) 信用取引負債

信用取引負債は契約期間が短期間であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 預り金、(3) 受入保証金 及び (4) 短期借入金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区 分	貸借対照表計上額
非上場株式	3,530
出資金	2,100
関係会社株式	5,000

( ) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「(7)投資有価証券」に、含めておりません。

(注3) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

区 分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金・預金	1,467,520	-	-	-
顧客分別金信託	3,290,000	-	-	-
顧客区分管理信託	2,100,000	-	-	-
信用取引資産	4,051,314	-	-	-
合計	10,908,834	-	-	-

( ) 償還予定額が見込めないものは含めておりません。

(注4) 有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位：千円)

区 分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
信用取引負債	2,269,394	-	-	-
短期借入金	1,260,000	-	-	-
合計	3,529,394	-	-	-

(注5) その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

	種類	取得原価	貸借対照表計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	60,640	4,402,752	4,342,111
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	-	-	-	-
合計		60,640	4,402,752	4,342,111

【関連当事者との取引に関する注記】

(1) 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	サバークォート株式会社	所有 直接 100%	役員の兼職	経理業務等の受託	5,805	未収収益	-

(2) 役員及び個人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高	
親会社の役員及び近親者が議決権の過半数を有している会社等の子会社	フィリップ・フューチャーズ・プライベートリミテッド	なし	カバー取引の相手先	保証金の差入(注)	210,000	短期差入保証金	220,031	
				保証金の返戻(注)	494,977			
			先物取引の相手先	証拠金の受入(注)	5,245,000	受入保証金		414,365
				証拠金の返戻(注)	7,110,000			
	フィリップ・セキュリティーズ・プライベートリミテッド	なし	外国株証券取引の相手先	預託金の差入(注)	104,235	預託金	10,228	
				預託金の返戻(注)	357,073			
			日本株証券取引の相手先	預り金の受入(注)	70,000	預り金	95,718	
				預り金の返戻(注)	300,000			

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 未実現損益を加味し、適正な水準の保証金を差し入れています。

【1株当たり情報に関する注記】

(1) 1株当たり純資産額 4,958円66銭

(2) 1株当たり当期純利益 242円44銭

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数により算出しております。

【退職給付に関する注記】

(1) 採用している退職給付制度の概要

当社は退職金規程に基づく退職一時金制度を採用し、退職一時金の一部を中小企業退職金共済制度から支給する制度であります。退職給付債務の算定については、期末自己都合要支給額を退職給付債務とする簡便法によっております。

(2) 退職給付債務に関する事項

退職給付債務	95,070 千円
中退共積立資産	77,350 "
退職給付引当金	17,720 "

(注) 退職給付債務の算定については、簡便法を採用しております。

(3) 退職給付費用に関する事項

退職給付費用	6,865 千円
中退共拠出額	4,744 "
退職給付引当金繰入	2,121 "

【その他】

計算書類及び附属明細書の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。